



「でっかいあいのふれあいルーム」オープニングセレモニー（出合小学校）

出合小学校の旧図書室が、6年生と多くの地域の方の力で、出合地区すべての人が触れ合える場として生まれ変わりました。セレモニーでは、教育後援会の会員をはじめ学校支援ボランティアや学校運営協議会委員の方々、保護者等が参加され、「でっかいあいのふれあいルーム」という看板のお披露目やくす玉割り、児童のあいさつ・合唱などが行われました。6年生は、出合の未来を見つめる学習の中で、部屋のレイアウトやイベントなどを考えました。地域の方と子どもたちが気軽に過ごせる場にしましょう、いつでも立ち寄ってください、この部屋からでっかい愛を地域に広げていきましょうという児童の声からは、ふるさとを愛する気持ちがしっかり伝わってきました。



生徒が参加したユニット型研修会（厚狭中学校）

厚狭中学校では、3年国語の研究授業の後、研修職員会議に3年生の代表生徒と学校運営協議会委員、地域教育協議会委員が参加しました。グループ協議では、生徒は恥ずかしがらずにはっきりと自分の考えを伝え、グループのまとめも堂々と発表しました。これは昨年度に続く試みで、教員は、生徒がめあてをもって主体的に学習に取り組み、友達と意見を伝え合う中で自分の考えを深めるために、教員が大切にしなければならぬことを学びました。生徒にとっても、貴重な経験が達成感や自信につながった様子でした。



秋の日イベント 2025（厚陽小中学校）

学校図書館教育に注力している厚陽小中学校では、1学期の「つゆの日イベント」に続いて、2学期には「秋の日イベント」が1週間かけて行われました。昼休みになると、小中学生が続々と図書館にやってきて、小中合同図書委員会によるラッピング図書の貸し出しや図書ビンゴゲームを楽しみました。また、中学生による大型絵本の読み聞かせには、大勢の子どもたちが集まってじいっと見入っていました。読書の秋にふさわしいイベントで、多くの本好きの子どもたちにとってはとても楽しい時間を過ごせました。

